

特集

まちづくりを支える

白石区ふるさと会

毎年多くの区民でにぎわう「白石区ふるさとまつり」や子ども向けのイベントの数々。今月は、こうした行事の開催をはじめ、さまざまな場面で白石区のみちづくりを支え続ける「白石区ふるさと会」を紹介します。

【詳細】区総務企画課庶務係へ(861)2400

「白石区ふるさと会」とは？

白石を人情味あふれるまちに

白石区のみちづくりを応援する「白石区ふるさと会」は、郷土意識を深め白石区を人情味あふれる素晴らしいまちにすることを目的として、昭和51年3月に設立されました。町内会などの住民組織や各種団体、企業などの団体会員と

宮城県白石市との交流

白石区の歴史を伝えるために

脈々と受け継がれる白石区の歴史を後世に伝えるための取り組みも行っています。同会が設立された昭和51年、区と深く関わりのある宮城県白石市にも「札幌白石親交会」が設立され、以来交流を続け

次世代へ思いをつなぐ

子どもたちに体験の場をつくる

白石区ふるさと会では、「白石」での体験を通して、子どもたちに郷土への愛着を深めてもらうことも狙いの一つとしています。そこで、地域住民や企業、

白石区ふるさと会の主な事業をご紹介します

白石区子どもワンダーランド



留学生やJICA研修員と小学生が、遊びの中で他国の文化などを学びます。今年度は6月23日に開催し、参加した子どもたちは、初めて遊ぶ外国のゲームもあったという間に覚えて、元気づく楽しんでいました。

白石区ふるさとまつり



昭和51年から開催している区内最大のお祭りです。さまざまなステージ発表やビンゴ大会、盆踊りのほか、たくさんの屋台が楽しめます。区内企業の若手社員や学生などからなる「若者プロジェクト」が企画する「しろいし大鍋」などの屋台も大好評。また、前回から招いている宮城県白石市の「片倉鉄砲隊」も祭りを盛り上げています。今年度は7月14日・15日に開催し、過去最高となる約37,000人の来場者でにぎわいました。

